

13年間 沖代小学校東側横断歩道で朝の登校を見守って下さいました！

岡田 様 長い間本当にありがとうございました



学校東の横断歩道で、毎朝皆さんの安全を見守って下さっている岡田さんが体調を崩され、今回見守りの役を退くことになりました。十三年の長きにわたり、雨の日も風の日も沖代小学校の子どもたちのために交通指導を行っていただきました。お陰様で、大きな事故もなく子どもたちは安全に登校することができました。長い間ありがとうございました。

岡田さんだけではなく、地域には「沖代の子どもたちのために」とたくさんの方々が皆さんを応援してくれています。今回、新たに1年生の保護者より「登下校の様子を見て、危ないなど感じる場所があります。自分ができる日に見守りに立ちたいと思います。」と協力の申し出がありました。早速、「見守り隊」タスキをお渡しさせて頂きました。

もし、「できる日にできるだけの時間で良ければ、協力しますよ」という方がいましたら、沖代小学校までお知らせ下さい。宜しくお願いします。

今の学年で学習した内容は、その学年内にしっかり身につける！

先日の給食時間、児童会役員(運営委員会)さんから「六年生はあと30日、一年生から五年生まではあと32日で終わりです」という校内放送がありました。カレンダーで確かめてみると確かに登校日は30日をきっていました。どの学年もこれからは一年間の「おさらい」の時期に入ります。一学期に学習した内容から、少しずつ「おさらい」を始めましょう。



知識・技能の定着には、「繰り返し」ドリルが効果的です。新しい問題にチャレンジするのもいいのですが、同じ問題や間違えた問題を繰り返し解くことも大切です。残された期間に、この一年間で学習した内容をしっかり身につけ、次の学年へ進級しましょう。

コロナ禍での新しい学校生活をどう考えていくべきか



文部科学省は、学校の授業などは4月1日以降、基本的にマスク着用を求めないとする通知を各地の教育委員会に出した。また、3月末までは従来通りマスク着用を求め、卒業式では校歌などを歌ったり、児童生徒らが呼びかけをしたりするときを除いて、教職員と児童生徒は着けないことを基本にすると明記した。 ～以上 2月10日(金) 朝日新聞DIGITAL より～

新型コロナウイルスの「5類」移行で、今後学校現場でのマスクの取り扱いを含めたコロナ対応は転換期を迎えることとなります。「マスク生活が当たり前で学校行事も制限が多くかわいそうだった」という声がある一方、「もし自分が感染したら、家族にも迷惑をかける。外すことに抵抗がある」と言う不安の声があるのも事実です。

手洗い、換気の確保などの必要な対策は今後も継続しつつ、感染状況に応じてマスクの着用を子どもたちに促す方向で考えています。各ご家庭でも、どのようなときマスクを着用すべきかを話し合ってみてはいかがでしょうか。子どもが主体的に判断する良い機会になると思います。